

ものづくりのための統計セミナー「JMPハンズオンセミナー」

研究開発や生産技術、プロセス開発など製造業において、実験によるデータ収集や解析は新製品の開発や改良、生産性向上に欠かすことのできない重要な役割を果たします。データは、適当に集めればよいというわけではなく、統計学にもとづいた計画のもとで集めることが必要です。本セミナーでは、SAS Institute Japan株式会社の統計解析ソフトJMPを実際に操作しながら、統計学の重要性や基本的な知識、実験計画法についてご説明します。

第1部では、統計をこれから勉強したい方や、まだ始めたばかりの方を対象とし、グラフの重要性や、データを理解するのに、統計学がどのように役立つかについてご紹介します。第2部では、実験の計画、データ分析に必要な実験計画法についてご紹介します。

第1部と第2部の講義は、どちらかのみを受講も可能です。第2部では、t検定、回帰分析などの基本的な統計の知識があることを前提として講義をすすめますので、必要な方は、第1部の講義も受講されることをおすすめします。なお、ハンズオンに使用するPCは、ご自身のものをご持参ください（会場ではご用意しておりません）。

統計ソフトJMPは、事前にSAS Institute Japan株式会社のWebサイト（<http://www.jmp.com/japan/trial>）よりトライアル版をインストールしてください。

開催概要

【開催日程】平成29年11月10日（金）13:30～17:00（13:00より受付開始）

【場所】熊本県産業技術センター

【対象】製造業で設計、開発、生産技術に携わる方

【定員】20名 参加費無料（事前登録制）

【講師】勝村 裕一（SAS Institute Japan株式会社 JMPジャパン事業部テクニカルグループ システムエンジニア）

※ 第1部、第2部どちらかのみを受講も可能です。

プログラム（予定）	講演タイトル	講演概要
13:30 - 15:00	第1部：ものづくりにおける統計入門	この講義では、まず、データを視覚化することがなぜ重要なのか、データを理解するのに、統計学がどのように役立つかについてご紹介します。その後、JMPを操作しながら、t検定や回帰分析など、実験データの分析に必要な統計手法について、学びます。統計をこれから勉強したい方や、始めたばかりの方を対象とした内容です。第2部の講義で必要となる基本的な事項についても説明します。
15:00 - 15:30	休憩	
15:30 - 17:00	第2部：技術者のための実験計画（ハンズオンセミナー）	実験計画（DOE: Design Of Experiments）とは、因子と応答の関係をモデル化・探索するために、どのように実験を計画し、どのようにデータを分析するか、を扱う統計学の中の一つの分野です。この講義では、JMPを操作しながら、実験の計画、実験データの分析を行います。多数の因子の中から応答に対する影響が大きい因子を探し出すためのスクリーニング計画や、最適解を求めたいときに使用される応答曲面計画などを例としてご紹介します。

※途中、休憩を挟みます。

受講に必要なもの

ハンズオンに使用するPCは、ご自身のものをご持参ください（会場ではご用意しておりません）。

統計ソフトJMPは、事前にSAS Institute Japan株式会社のWebサイトよりトライアル版をインストールしてください。なお、初回の起動時にアクティベーションを行う必要があります。アクティベーションを行うには、インターネットへの接続が必要となりますので、事前に行ってください（会場では、インターネットの接続環境はご用意しておりません）。トライアル版のダウンロードとご利用手順に関しては、下記Webサイトより詳細をご確認ください。

◆無料トライアルダウンロード <http://www.jmp.com/japan/trial>

◆トライアル版のご利用手順 http://www.jmp.com/japan/support/downloads/jmp_trial.shtml

また、トライアル版のダウンロードに際しては、お客様情報の登録が必要となります。JMPのインストールに関するご質問は、JMP Japan事業部（jmpjapan@jmp.com）までご連絡ください。

セミナー詳細・お申し込みはこちらから <http://www.iri.pref.kumamoto.jp/>

お問い合わせ：熊本県産業技術振興協会 川部

TEL: 096-368-2101 Email: kawabe@kumamoto-iri.jp